

第72次東京教研「人権と教育」分科会

多文化共生社会を目指し、
夜間中学や外国につながる子ども、
通信制のあり方、障がい者との共生を考える、
若者の支援、



■午前の部（10時～12時）

【テーマ1 夜間中学 外国につながる人たちの 学習活動・進学から学ぶ】

① ムサンバ アルレア アーロンさん（夜間中学卒業生）

「コンゴから来日し夜間中学に入学。定時制高校・大学を卒業し就職。
将来の夢を語る」

2012年に来日し2013年夜間中学入学。その後、墨田工業高校定時制・日本工業大学を卒業し、現在総合建築設備の会社に就職。将来は貿易の仕事を通して、日本とコンゴのかけはしになりたい。

② タバ ディビヤさん（夜間中学卒業生）

「ネパールから来日し夜間中学を卒業し、
高校そして専門学校で学び今後のことを語る」

2017年にネパールから来日し大田区立糀谷中学校を卒業。その後、六郷工科高校を卒業し、現在専門学校（通訳・翻訳）で学ぶ。今後それを活かした仕事をしたい。

■午後の部（13時～16時30分）

③ 深田明子さん（多摩地区中学校学習支援員）

「多摩地区での外国人生徒支援ボランティアの取組と経験を踏まえて」

サポートティーチャーがこの数年間に会った在京外国人中学生達。自己の経験と生徒への愛だけで、自立した将来の為に今、一緒にできる事、を探してきました。支援員としてどこまで出来るのか、自問自答の中で取り組んできたことを報告します。

【テーマ2 ニュージーランドでの通信制教育について学ぶ】

④ 中山眞理子さん（NPO 多文化子ども自立支援センター）

「ニュージーランドでの通信教育の普及とその意義」

ニュージーランドは国土に比し人口が非常に少ない。辺境の地にいる子供たちに教育を受ける権利を保障する通信教育システムは早期にシステム化された。個々の人間の個性・文化背景が異なることを前提とし社会への起爆剤とするニュージーランドの社会・政治理念は教育にも色濃く反映されている～

【テーマ3 中途失明の方の素晴らしい生き方、 共生のための問題提起から学ぶ】

⑤ 田村啓子さん（座・スーパーマーケット）

「座・スーパーマーケットの立ち上げから22年の歩み」

見えない人はどんな生活をしているのか、家事はするのか、料理はどうしているのかと沢山の人の聞かれる度に、見えない人の方から発信する必要性を感じて、もっと私たちを知って欲しいというのが、活動の主旨です。見える人に見えない人が困っている事や、不便に感じている事等を、知り合う事から輪を広げたいと思っています。視覚障害の先人達に学んだ事を、途中から見えなくなった人たちに伝えていきたいというのが、これからの私の願いです。～

【全体討論】どなたも ともに語り合しましょう！

2023年1月28日(土)

9:45開場10:00 開始(終了予定 16:30)

アクセスマップ →

■会場■小金井市立本町小学校（東京都小金井市本町5-29-21）

JR中央線 武蔵小金井駅北口徒歩10分。会場校へのお問い合わせはご遠慮ください。Zoom参加可能

■参加費■無料 教職員、ボランティア、一般市民の方など、どなたでも参加できます。

■お問い合わせ・申込■東京教研実行委員会事務局TEL：03-3230-3891（都教組）

右のQRコード、または電話・FAXでお名前・メールアドレス・電話番号・参加希望分科会名等をお伝えの上、お申込みください。

分科会世話人 関本保孝（えんぴつの会・ピナット）090-1857-5667 福江夏海（中学教員）

共同研究者 江口千春（子どもの権利条約をすすめる八王子の会）

中山眞理子（NPO法人多文化子ども自立センター）

幅崎麻紀子（埼玉大学研究企画推進室・ダイバーシティ推進オフィス）

参加申し込みフォーム→

<https://forms.gle/pRS4PhfqQTU2k7Cu5>

